

## I 組織の使命

観光部のミッション（使命）は、

「函館市観光基本計画」に掲げる基本理念「観光の価値を高め、函館を照らす」を実現することです。

来函観光客の満足度を向上させるため、提供するサービスやコンテンツの質を高め、函館観光全体の消費額の向上を図るとともに、観光消費の経済波及効果で市民生活を豊かにします。

## II 組織の基本方針

○ 次の4項目を基本方針として、取り組みを進めてまいります。

- 1 質の高い観光により観光消費額を向上させる
- 2 観光の繁閑差を是正する
- 3 函館観光を盛り上げる人を増やす
- 4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する

## III 主要施策・事務事業

### 1 質の高い観光により観光消費額を向上させる

#### (1) 地域の観光コンテンツのレベルアップを図る

- ・早朝や東部地域において魅力的なコンテンツを造成し、平均宿泊数の増加を図るほか、ペットプランを掲載した特設ページを開設するなどペット旅行者の誘客を図ります。
- ・山頂展望台において、漁火公園および山頂広場までの動線にロープライトを設置し、回遊性を促し混雑緩和を図ることで、夜景満足度の維持・向上を図ります。
- ・湯の川温泉エリアのブランドコンセプトに合ったプロモーションを実施し誘客の促進を図ります。

#### (2) 地域との連携を深め渡島檜山圏域の宿泊日数の増加を図る

- ・近隣の自治体等との連携を深め、観光資源を効果的に発信するとともに、函館を拠点とした魅力ある観光プログラムの造成を図ることで、渡島檜山圏域における宿泊日数の増加に繋げ、延宿泊日数年間1,000万人泊の達成を目指します。

#### (3) 富裕層の誘客に向けた観光プログラムの造成、磨き上げなどを進める

- ・昨年度に作成した富裕層向けコンテンツの紹介資料や動画を活用し、商談会や情報発信等のプロモーションを通じて、本市への誘客促進を図ります。
- ・より深い体験を求める欧米系の観光客の受入環境の充実を図るため、講演会や講習会の開催を通じてスルーガイドの育成を推進します。

#### (4) 欧米向けプロモーションの強化・消費額の高い外国人観光客の誘客

- ・欧米豪からの訪日外国人観光客の誘客を強化するほか、東京から北関東、東北を経て、本市へ至る周遊ルートを確立するとともに、道内自治体と連携し、消費単価の高い訪日外国人観光客の誘客を目指し、市内の観光消費額の向上に繋がります。

#### (5) 観光消費の機会拡大に向けた適切な情報発信

- ・訪日外国人への函館の認知度向上のため、航空会社等と連携したプロモーションやInstagramによる情報発信を実施し、誘客促進につなげます。
- ・函館市内における観光消費機会の拡大に向けて、旅マエ、旅ナカ、旅アトの段階ごとに、ターゲットの特性に応じたツールを活用して効果的な情報発信に努めます。

**(6) 函館観光の利便性を高める取り組み**

- ・旧イギリス領事館への空調設備の設置を進めるとともに、Wi-Fi環境や観光案内所の管理運営を継続して実施するなど、観光施設等の受入環境の整備を図り、観光客の利便性および快適性の向上を図ります。
- ・インバウンド向けガイドの人材育成や、函館山の混雑解消および、八幡坂でのマナー向上に向けた取り組みを進めるなど、快適な観光のための環境整備を進め、訪日外国人観光客等の満足度向上を図ります。
- ・定期観光バスの実証運行を通じて、自走化に向けた採算性や課題を把握し、改善につなげることで、個人旅行者が効率的に市内を周遊できる環境の整備を図ります。

**(7) デジタル技術を函館観光に取り入れる**

- ・観光駐車場におけるキャッシュレス決済の導入により、施設利用の利便性向上を図るなど、デジタル技術を活用した快適な観光受入環境の整備を進めます。
- ・AI検索で市公式観光情報サイト「はこぶら」が適切に認識・引用されるように、AI検索の最適化(AI O対策)を図ります。

**(8) 北海道新幹線延伸を見据えた広域連携**

- ・北海道新幹線札幌延伸を見据え、沿線自治体等との連携を図ります。

**(9) 多様なニーズに対応したコンテンツの推進**

- ・歴史や映画、アニメ等を活用した、いわゆる聖地巡礼などの一定のファン層に支えられた付加価値の高いコンテンツツーリズムの推進を図ります。

**(10) MICE誘致**

- ・道MICE誘致推進協議会主催の商談会や国際MICEエキスポ(IME)への参加や過去開催実績のある大学への訪問誘致活動を行うほか、サポートHPやパッケージプランの作成による利便性向上を図るとともに、実態把握調査を行い、今後の誘致・受入施策の充実に努めます。

**(11) 誰もが安心して訪れる観光地を目指す**

- ・観光施設等のバリアフリー対応状況調査や、事業者向けセミナー、ユニバーサルツーリズムモデルコースの造成を通じて、誰もが安心して訪れることができる観光地づくりを進めます。

**2 観光の繁閑差を是正する****(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み**

- ・中国、台湾、韓国、東南アジア諸国など、北海道の冬季観光への関心が高い国や地域に冬のコンテンツの提案や、秋冬の見どころなどの情報発信を行い、閑散期の誘客を推進します。
- ・冬のニセコエリアに多く来訪している欧米豪の観光客に対し、函館道南エリアの認知度向上および道南への周遊観光の促進を図ります。

**(2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出**

- ・秋・冬季の誘客促進を目的として、MOMI-Gフェスタの開催期間を延長するほか、はこだてウィンターイルミネーションなど、集客効果の高いイベントを実施します。
- ・青森県と連携した首都圏でのプロモーション等を実施し、青函エリアの冬季の周遊促進・誘客の拡大を図ります。

**(3) 教育旅行誘致による繁閑差の是正**

- ・北海道観光機構やJR北海道が開催する各種商談会での函館市における冬季教育旅行実施の魅力発信や冬季の教育旅行を検討する学校教員を対象とした、実際のモデルコースの体験や市内事業者との意見交換など含めたFAMツアーを実施し、冬季教育旅行誘致を推進します。

### 3 函館観光を盛り上げる人を増やす

(1) 函館市民による観光の取り組みへの参画を促進する

- ・函館観光に携わるインバウンド向けガイド人材の育成に取り組みます。

(2) 函館市民が函館の魅力を再発見できる環境づくりを進める

- ・誰もが函館の魅力を発信することが出来る，SNSを活用した取り組みを実施します。

### 4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め，観光への市民理解を促進する

(1) 観光の重要性の市民理解向上に向けた取り組み

- ・市内高校や大学などで出前講座を開催し，函館における観光の重要性について周知を図ります。

### 5 その他，観光振興を図るうえで必要な取り組み

(1) 函館国際観光コンベンション協会と具体的な協議を行い，観光推進体制の強化を図ります。

(2) 来函観光入込客数の推計や観光動向調査を実施するとともに，新たに観光入込人流データ分析を実施します。

(3) 賑わいや活気に満ちた満足度の高いイベントを計画・実施するため，既存イベントの見直しや映画等のコンテンツの活用を進めるとともに，事業者や市民・観光客への情報発信に努めます。

(4) 地域の観光振興の中核を担う函館国際観光コンベンション協会との連携強化のほか，市内外の関係機関等との情報交換・交流を図り，情報ネットワークの拡充・強化に努めます。

(5) 課税を開始した宿泊税について，宿泊者が円滑に宿泊税を納入できるよう，宿泊者への適切な周知や広報を実施するとともに，次年度予算編成に向け，観光関係団体の意見・要望を踏まえ，宿泊税を充当する具体的な事業の検討を進めます。